

HAPPY MEDIA 宗像・福津 地域みっちゃく生活情報誌®

9

もたふ

MUNAFU

2021.Sep.VOL.110

総発行 64,500部

無料各戸配布 62,400部
無料ラック設置 2,100部

巻頭特集 応援大使就任で、地元を盛り上げたい

宗像出身アーティスト

りんね
Rin音



スワイプで使える
クーポンアプリ登場!!

フリモアプリ



敬老の日／おじいちゃん・おばあちゃん ありがとう
福津・宗像 メディカルマップ 地元の求人情報／まち JOB

巻頭特集 応援大使就任で、地元を盛り上げたい

宗像出身アーティスト

Rin音

りんね



▲Rin音さんのサイン



宗像市長伊豆美沙子さん

ラッパー Rin音 (りんね)

profile

’98年9月16日生まれ、宗像市出身の22歳。大学1年生の時にラッパーとしてのキャリアをスタート。’20年2月にリリースした「snow jam」がTikTokで注目を集め、数々のメディアにも出演。同年のTBS「輝く!日本レコード大賞」では新人賞を受賞し、今年7月にZeppツアーを行うなど勢力的に活動している。

この日はさつき松原からスタートし、海の道むなかた館や宗像大社など、宗像市内の名所を巡りながら自身の思い出と共に宗像の魅力を改めて体感してもらいました。長く宗像で暮らしていたものの意外と知らないこともあり、新たな発見も多かったそうです。その詳細は左上のスポット紹介や、『むなかた観光ガイド』のウェブページをチェックしてみてくださいね。

生まれ育った土地 宗像の名所を巡る

自身初となるツアー「Rinne音 "swipe sheep" RELEASE TOUR」色々あって初ツアーがZeppになっちゃったツアー」を終えた7月某日、宗像市の海辺に広がるさつき松原に姿を見せてくれたRinne音さん。「ここは子どもの頃からよく来ていた場所。友だちと砂浜に降りて、泳いだりして遊んでました」と当時を思い返しながら目を細めます。

次世代ラッパーとして注目される宗像市出身のアーティストRinne音さん。読者の皆さんの中には、応援しているファンも多いのでは？この度、Rinne音さんは宗像市の魅力をPRする「むなかた応援大使」に就任！そこで市内のスポットを巡りながら、宗像の魅力や地元への思いについて語ってもらいました。

Rin音 が地元を 巡る



水上三輪車

マリンアクティビティや岩盤浴が楽しめる「岡八」。この日は海上を漕いで進む水上三輪車に挑戦!「力があるけど気持ちいい!」と童心に戻ってはしゃぐRin音さん。



BBQ

日が沈む海を横目に、ビーチサイドでロマンチックに BBQ タイム。ボリューム満点の食材と最高の口けションに大満足!

遊んで泊まれる海カフェ 岡八 -OKAHACHI-

宗像市神湊530-1
☎0940-62-6277
営/10:00~22:00
休/不定休

朝から夕方まで、1日かけて宗像市内を巡ったRin音さん。その感想は「あ〜宗像に帰って来たな〜という感じ(笑)。宗像大社は意外と広いんだと思いましたし、まだまだ知らない宗像があることを実感しました」。

もっと、もっと見たい人は
「むなかた観光ガイド」
サイトにも掲載中



さつき松原

小学生の頃からよく遊びに来ていたという場所。大人になって改めて、綺麗なところだなと感じるようになったそうです。

宗像市江口 ☎0940-36-0037 (宗像市商工観光課) 時/通常開放



海の道むなかた館

今回が初めての来館。大迫力の3Dシアターやレプリカの全製指輪を体感し、沖ノ島についてディープに学びました。

宗像市深田588 ☎0940-62-2600
営/9:00~18:00
休/月曜日(ただし祝日の場合は翌平日)



La Casa (ラカーサ)

宗像大社から徒歩1分のレストラン。選べるランチメニューから「牛100%ハンバーグステーキ」をチョイス!

宗像市深田62-6
☎070-7585-2861
営/11:00~14:30(OS14:00) 休/不定休



宗像大社

よく参拝に訪れている場所で、初詣や秋のお祭りにも足を運んでいるそう。おみくじでは「中吉」を引きました。

宗像市田島 2331 ☎0940-62-1311
時/9:00~17:00(祈願受付)



information NEWS



「深海誘拐」 7月21日リリース!

Zepp ツアーをバック DJ として同行した、同年代のトラックメイカー・Shun Maruno と共に制作した楽曲。
<https://rinne.lnk.to/shinkaiPR>

Rin音 Official Web site



ライブやニューリリースなどの最新情報をはじめ、ミュージックビデオもここからチェックOK! オリジナルグッズの購入も可

twitter 情報



Instagram



むなかた応援大使に就任 地元の魅力を発信したい

7月21日、「むなかた応援大使」の任命式が市庁舎で行われ、伊豆美沙子市長から任命証が授与されました。むなかた応援大使は宗像市の観光振興や情報発信に関わり、これまでコメントやTwitterやコラムニストとして活躍するアン・クレスリーニさんが任命され、Rin音さんは12人目。芸能関係では初めての任命となったそうです。

「コロナ禍で人々の気持ちがすざんでいる今、Rin音さんが伝えてくれる歌声や心をほぐす優しい歌詞がたくさんの人を救ってくれるはず。そんなRin音さんの言葉で宗像のことを紹介してほしいと思います」と伊豆市長も期待を寄せます。

「僕はこの土地で育って音楽を始めました。宗像にはいろんな形で貢献していきたいです」とRin音さんは気を引き締めていました。

宗像は音楽活動の原点 今後も地元と共に歩みたい

大学1年生(18歳)の時から本格的にラッパーとしての活動を始めたRin音さん。当時は宗像市内の実家に暮らしていて、近所の公園や駅でサイファー(公園や広場にラッパーが集まり、フリースタイルラップをし合うこと)をしていたそ

う。「駅前だと電車の音に紛れるから練習するのにいいかなと。赤間駅や東郷駅前がよくサイファーをしていました。その時は人が集まる訳でもなく、何か若者がワイワイやってるな」という感じで素通りされていましたけど(笑)。

それから数々のMCバトルに出場し、楽曲も手掛けるなど活動の幅を広げていきます。全国的にその名を知らしめた今でも地元・宗像への思いは強く、自身の音楽に影響を与えていると言います。

「県外に出ることが多い今、改めて、宗像は空気が美味くて自然が身近で、落ち着く場所だな」と実感しています。街の中にはショッピングセンターもいくつかあるし、便利な場所です。自分のリリック(歌詞)にはそんな地元・宗像の風景が刻み込まれていると思います。曲を聴いてくれた人にも、そのことを感じてもらえたら嬉しいですね」。

ツアーの最終日となった7月16日のZepp Fukuokaには、中学・高校時代の地元の友人も駆けつけ、「地元の縁みたいなものを感じた」という嬉しいことに「むなぶ」のこともご存知で、読者の皆さんにメッセージをいただきました。「宗像は本場に居心地が良い街です。今は活動の場を全国に広がっていますが、なんだかんだでも地元でお世話になります。応援よろしくお願います!そして僕を見かけたら声をかけてください。寂しいので(笑)」。